



安全な給食

校長 羽田野庸史

1月に行われたもちつき大会には、朝早くから東町小地区防災協議会をはじめ、たくさんの保護者の方々のご協力をいただき、本当にありがとうございました。体育館いっぱいに広がる子供たちの笑顔とかけ声、先生方のもちつきのパフォーマンス、保護者や地域の方々の子供たちを見守る温かい眼差しに東町小のよさをあらためて感じました。

さて、2012年12月に調布市で給食中にお代わりをした5年生の女の子がショック死するという痛ましい事故がありました。この事故以降、二度と同じような事故を起こしてはならないと様々な対策が取られるようになりました。アレルギーは、成長とともに良くなることもありますが、今まで大丈夫だった食物がアレルギー源となることもあります。そのため、家庭、学校に関わらず、食べ物を食べてアレルギー反応が出た場合には、アレルギー源を特定するため、医療を受診し、生活指導管理表のご提出をお願いしております。なかなかお時間のご都合が付きにくいこともあるかと思いますが、児童の安全確保のため、ぜひご協力をお願いいたします。

最後に、亡くなられた女の子のご両親が食物アレルギー事故再発防止検討委員会に寄せられたメッセージを紹介いたします。

委員の皆様へ

娘の命はたった11年という短いものですが、家族、親族、地域の方々これ以上ないほど愛され、周囲の慈しみの中で輝いて生き抜いた人生だったように思います。

食物アレルギーや喘息という負担は抱えていたものの、その事実を前向きに捉えて、そのことによってむしろ豊かな感性や注意深い観察力を育んだとさえ思っています。見るもの触れるもの全てに敏感な、思慮深いところのある子どもでした。日々を謳歌し、ひたすら一生懸命に、明るく楽しんで生きていました。

そして将来は、自分の経験を生かして、子どもが助かるような研究をする科学者になりたいと、大きな夢を持って未来を目指していました。

国や医学界、教育現場、行政の皆様には、この死を無駄にせず、多くのアレルギーを持つ子供やその保護者の安心につながるような確実な施策を作り上げて、未来に向けていた娘の思いに応えてほしいと思っています。

2013年4月10日

両親より

2月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	木	安全指導 体育朝会(1~3年)	4~6
2	金	体育朝会(4~6年)	2~6
3	土	日本文化の時間 PTA茶話会	なし
4	日		
5	月	学校公開 委員会活動	4~6
6	火	学校公開 道徳授業地区公開講座 5時間授業	3~6
7	水	4時間授業	なし
8	木	児童集会 避難訓練	4~6
9	金	4時間授業	なし
10	土		
11	日	建国記念の日	
12	月	振替休日	
13	火	4時間授業 研究授業(6-2)	なし
14	水		なし
15	木	International Assembly(3・4校時)	4~6
16	金	社会科見学(5年)まなびの森・あい保育園交流(1年)	2~6
17	土	日本文化の時間	なし
18	日		
19	月	クラブ活動(3年見学) ファミリー会議(5年中休み) 学校評議員会	4~6
20	火		3~6
21	水	なわとび大会	なし
22	木	音楽朝会 社会科見学(4年) 新一年生保護者会	4~6
23	金		2~6
24	土		
25	日		
26	月	委員会活動	4~6
27	火	図書ボランティア読み聞かせ(3年)	3~6
28	水	4時間授業	なし

2月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

寒さに負けず運動に取り組もう

子供のうちから体幹(胸から背中、腹筋、腰回り、お尻回り)を意識的に鍛えることは、運動能力を向上させるのみならず、将来大きな恩恵を受けることとなります。正しい姿勢でいることは、全身の血行が良くなり頭の先から足の先まで血が巡り酸素が行き届きます。その結果、細胞は活性化し、学力向上、運動能力向上につながっていきます。また、体幹がしっかりしていれば、将来年を重ねたときに疲れにくい体や腰痛などになりにくい体になります。

子供のころは、体幹の特別なトレーニングをしなくても、元気に外で走ったり、ボールを投げたりし、友達と遊んでいく中で自然と体幹を鍛えることができます。寒さに負けず元気に遊びましょう!

International Assembly について

国際科担当 山崎 修一

本校の特色である International Assembly は、国際科の授業で学んだ成果を発表します。

児童相互の発表と鑑賞のため、特に保護者席はありませんが、参観は可能です。なお、ご参観の際は、児童席後方にてお互いに譲り合って、ご参観くださいますようお願いいたします。

1. 日時・場所と発表する学級

平成30年2月15日(木) 体育館にて
3時間目(10:45~11:30)

1-1、3-1、5-A、2-A、4-1、6-1

4時間目(11:35~12:20)

1-2、3-2、5-B、2-B、4-2、6-2

※2年生と5年生は、クラスを解体してAとBの2つのグループに編成し直して行います。

2. 発表演目と発表順

1年生 「Today is Monday」

3年生 「うさぎとかめ」

5年生 「No.1 in the world」

2年生 「Let's go to the Higashimachi-Farm」

4年生 「The Rich Straw Man」

6年生 「あわめもりーず」

なわとび大会について

なわとび大会担当 黒川 洋

東町小学校伝統のなわとび大会を2月21日(水)に行います。校庭では、なわとびカードを持って短なわとびの回数を数えてもらっている姿や、学級で長なわを回しみんなで声を掛け合う姿が見られるなど、それぞれが一生懸命になわとびに取り組んでいます。

12月の体育朝会では、なわとびクラブが模範演技をしました。両足そろえての前跳び、後ろ跳びから始まり、難易度の高いハヤブサ跳びを見て、なわとびへ取り組む意欲がいっそう高まりました。

短なわとびでは、個人で立てた目標を達成できるように努力し、長なわとびでは、各学級で記録を伸ばすためにできることを考えて練習する中で、課題を克服する力が高まってきました。また、学級の団結力や仲間の友情が深まってくることも期待できます。個人、集団として成長できることも、なわとび大会の大きな魅力の一つです。

なわとび大会への取り組みを通して、学校全体を盛り上げて子供の体力を高めて

いきます。

保護者の参観も可能です。

各学年の時間については、各学年の学年だよりをご覧ください。



煙ハウス体験

避難訓練担当 村松 静香

1月22日(月)に火事を想定した避難訓練を行いました。その後、今年は2・4・6年生が麻布消防署のご協力のもと、煙ハウスの体験をしました。煙ハウスとは、テント内に人体に無害な煙を充満させ、火災時における煙の怖さと避難方法などを体験することができるものです。

テントの中は煙で真っ白になっており、短いルートでも歩くのに時間がかかります。体験した子供たちからは、「前が見えなかった」「歩くのが怖いと思った」との声が聞こえてきました。

火事の際は、炎よりも煙に気を付けなければいけません。炎よりも、煙による被害の方が圧倒的に多いのです。いつもの避難訓練では分からない、煙の怖さについて学ぶ貴重な経験となりました。



教育相談室について

スクールカウンセラー 新井 信子

今年度は毎週火曜日は、新井スクールカウンセラー、毎週木曜日は、宮本スクールカウンセラーが担当しています。休み時間や放課後等、多くの子供たちが友達関係や家族のこと、習いごとのこと等、様々なことを話しに来ます。少しだけ日常を離れて、自分の話にじっくりと耳を傾けてもらえる時間を得ることで、明るい表情で退室していく子供たちの表情を見てみると、この仕事のやりがいを感じます。時には解決策も一緒に考えます。特に友人関係の問題については、子供たちのOKももらった上で、担任の先生にご相談しながら解決することもあります。大人にとっては「え？大したことじゃないのに・・・！」と思うようなことでも、意外に子供の世界にとっては「おおごと」のこともあり、丁寧に対応をしていくことが必要なこともあります。もちろん大人が先回りし過ぎたり、干渉し過ぎたりして、子供たち自身で何とかしようとする「成長力」を削がないように配慮しています。

保護者の方々からのご相談もお受けしています。子供たちの行動面や情緒面、発達面など気がかりなことがございましたら、お気軽にご相談ください。事前に担任の先生や、山岸主任養護教諭、副校長を通してご予約ください。